

千葉明德短期大学 育ちあいのひろば

たいむ

1月号 (H26.1.6 発行)

■年頭のご挨拶■ 育ちあいのひろば たいむ 統括・短大教員 石井章仁 (いしいあきひと)

新年あけましておめでとうございます。新たな年を迎え、幼稚園や保育園の入園、職場復帰、引越しなど、様々な環境の変化もあることと思います。本年も、子どもを中心に置き、子どもを育てる者同士が分かち合い、支え合えるような広場を創ることをめざし、スタッフ一同、より一層精進して参りたいと思っております。

「育ちあいのひろば たいむ」は、“親子の集う広場”であることは勿論のことですが、親子、スタッフ、学生等、ここに集う者すべてが育ちあえる場・時間であることを目指しています。そのため、今年も常にいろいろなチャレンジをし、成功や失敗を繰り返しながらも“成長する広場”でありたいと願っています。

そもそも、千葉明德短期大学でこのような親子の広場を創ったのは、平成10年10月のことでした。当時の教員が子育て支援の必要性を感じ「親子教室」という名称で活動を始めました。その後、平成17-18年には、文部科学省の「特色ある大学教育プログラム(特色GP)」に採択され、誰もが育ちあう広場を目指し「育ちあいのひろば ほっとステーション親子」となりました。担当やスタッフのより、その年度ごとの特色は変わってきましたが、この小さな短大で、「地域の親子が生き生きと育つことを見守る」という使命は変わることなく受け継がれています。現体制に代わった平成23年以降は、誰でもいつでも利用できる、利用者主体の広場を目指し、「育ちあいのひろば たいむ」(H23年度はほっとステーションたいむ)とし、短大・附属幼稚園とも連携しながら運営を行い、25年度からは利用対象年齢もなくなりました。

しかし、この事業は難しい面が多くあります。幼稚園や保育園とは異なり、「一期一会」の広場です。こちらが利用を願っていても、必要な方に求められなかったり、一度きりの利用で終わってしまったケースも多くあります。また、通常こうした広場には、年配の“子育てのアドバイスができる”女性職員が常駐しておりますが、まだ育ちの段階のスタッフが常駐し、利用者同士の支えあいに頼っています。さらに、学生が企画(時に無茶な)を主体的に行う機会も多くあり、大学の附属機関としては(周囲の広場と比べると)、「素人臭さ」が目立ってしまう広場かもしれません。しかし、我々が最も大事にしていることは、広場に「先生」「指導者」という存在を作らないことです。正論こそ、時に人を辛くさせてしまうことがあります。特に子育てに「こうすべき」という正論はあまり意味がありません。だからこそ、みんなで、ああしようこうしよう、どうしようを考えることを目標にしています。広場を利用される方が上になったり(そういう場面も多いかと思いますが)、学生と一緒に規格を行ったり、自主的に何かを企画したり、もっと自由にいろいろできる広場を今年も目指します。

事業年度は4月に変わりますが、それまでの間、今年度の総括及び次年度の計画も立てていきたいと考えておりますので、たくさんご意見をお寄せいただき、たいむの次年度を共に考えていただけたらと、切に願います。

ちなみに私は、一応広場の「統括」ですが、皆さんが自由に何でもできるようにしたり、学生やスタッフ、利用者の皆さんに「何かやってみませんか」とけしかけたり、上手いかなかったときに代表して「すみません」と謝ったりすることが仕事だと思っています。いろいろ述べてきましたが、とにかく、自由で柔軟な場づくりをしていきたいと宣言し、年頭のご挨拶と代えさせていただきます。

■12月は学生企画がたくさんありました！■

12月5日 電車に変身して遊びました

12月10日 エビカニクスを踊ったり、ぬり絵をして遊びました

12月12日 “虹のおこうに”の曲に合わせて踊りました

12月16日 クリスマスのパネルシアターを見たり踊ったりした後、紙皿を使ってクリスマスリースを作りました

12月17日 パティシエに変身！クリスマスケーキを作りました

12月19日 新聞紙で遊びました

12月20日 クリスマスコンサート

* ケーキ作り(12月17日)

クリームを混ぜたり、フルーツで飾り付けをしたりしました。スポンジが見えなくなるまでクリームを塗る姿はとても真剣でした。また、いつもとは違う三角巾、エプロン姿がとてもかわいらしく、パティシエのようでした！



* リース作り(12月16日)

パネルシアターを見たり、みんなで踊ったりしました。そのあと、紙皿を使ってクリスマスリースを作りました。



* 新聞紙遊び(12月19日)

新聞紙で道を作って歩いたり、輪をケンケンしたり、ビリビリにしたり・・・この日は写真を何枚撮ってもぶれてしまうくらい大盛り上がりでした。



■おゆみ野の森に行きました■

12月7日(金) おゆみ野の森へ遊びに行きました(学生も一緒に)。森へ着くと子どもたちは次々に自分のやりたいことを見つけ、遊び始めました。私自身も到着すると木にハンモックがついていることに気が付き、早速やってみました。しかし、切れてしまうのではないかとドキドキ・・・今思えば子どもの頃はそんなことも思わずにいたと思います。ドキドキしている横で「このハンモックは80kgまで大丈夫なんですよ」というスタッフの方のお言葉が！その言葉に安心して乗ることができました。また、私はYちゃん、Mくんと一緒におゆみ野の森の周りを探検してみました。「この道はどこにつながっているのだろう・・・」どうなっているのかわからないのに進んでいこうとするちょっと怖いけれど、わくわくする気持ちを味わいました。その途中でみつけてしまった“マムシに注意！”の看板。「どうする？へビいるって」とYちゃんも看板に気付いた様子・・・。「どうしようか・・・」どうするか答えを出さないまま、無言で二人で早歩きになっていました。(途中、どんぐりはしっかりと拾って)しばらくすると、最初にいた場所が見えてきて、マムシがいたらどうしようという怖さからなのか、知らない所から元の場所に戻れたからなのかわかりませんが私たち二人は早歩きからダッシュをしていました。Yちゃん、Mくんと探検をしていて子どもの頃に戻ったような感覚になりました。また、その日私は学生が汚れることを気にせず、葉っぱだらけになって遊んでいる姿を目にしました。その姿を見て感じたこと、Yちゃん・Mくんと探検していて感じたことそれは・・・最初はおゆみ野の森という場所に正直、戸惑ってしまいましたが実際に行ってみると、子どもの頃に戻ることもできる素敵な場所なのかもしれません・・・。(の)

80kgまで大丈夫なハンモックにみんなで乗ってみました。



■はらぺこあおむし■

12月に始めたはらぺこあおむし作り。たくさんの方が参加していただき、とても嬉しく思います。私は息子のクリスマスプレゼントにしようと思い、必死で作りましたが実際に始めてみると、子どもがいると家では思うように作ることができず、思った以上に時間がかかってしまいました。フェルトは切ったけれど・・・という方、期間内に作り終わることのできなかつた方もたくさんいることと思います。そ・こ・で！！すでに材料費を払っている方はそのまま期間を延長して完成するまで、どうぞたいむでゆっくり作ってください！みんなで完成した時の喜びを一緒に味わいましょう！